

製品安全データシート

1. 製品および会社情報

製品名	MC ピーシークリーナー
会社名	マコト化学工業株式会社
住所	東京都大田区北千束 2-9-2
担当部門	技術開発部
電話番号	03-3782-5992
FAX番号	03-5751-3052
緊急連絡先	同上
推奨用途および使用上の制限	印刷機用洗浄剤
整理番号	MCPC

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
	急性毒性(吸入:蒸気)	区分5
	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性・刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分外
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分2(呼吸器、神経、麻酔性)
	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	分類できない
	吸引性呼吸器有害性	区分1
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分3
	水生環境有害性(慢性)	区分3

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険有害性情報

危険

引火性液体および蒸気
吸入すると有害のおそれ
軽度の皮膚刺激
眼への刺激
臓器(呼吸器、神経、麻酔性)の障害のおそれ
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

熱、火花、裸火、高温のもの、静電気のような着火源から遠ざけてください。一禁煙。
 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、火花の出ない工具を使用してください。
 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
 個人用の保護具を着用、または換気の良い区域でのみ使用してください。
 ミスト、蒸気等を吸入しないよう、局所排気装置等を設けてください。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
 取扱い後は手洗い、うがいを十分おこなってください。
 容器を加熱、穴あけ加工をしないで下さい。(残留物が発火のおそれがあります)

応急措置

火災の場合：炭酸ガス、泡、または粉末消化器を用いて消火してください。
 飲み込んだ場合：口をすすぎ、すぐに医師の診察を受けてください。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。

保管

容器を密閉し、日光から遮断し、涼しく換気の良い場所で施錠して保管してください。

廃棄

内容物や容器を都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託してください。
 空容器に圧力をかけないでください。(破裂のおそれがあります)

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名または一般名：印刷機用洗浄剤

成分及び含有量：

化 学 名	含有量 (%)	化 学 式	官報公示No 化 審 法	CAS No.
水素化精製重質ナフサ	10～20	特定できない	9-1689	64742-48-9
合成イソパラ系炭化水素 (C13-C16)	1～10	—	2-10	68551-20-2 65072-03-9
研磨剤 (天然鉱物)	5～15	—	—	非公開
ポリオキシエチレンアルキルエーテル (注)	1～ 5	R-O-(C ₂ H ₄ O) _n H	非公開	非公開
水	60～70	H ₂ O	—	7732-18-5

(注)：ポリオキシエチレンアルキルエーテルは R-O-(C₂H₄O)_nH の R の炭素数が 12～15 以外のもの

労働安全衛生法通知対象物：非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)：非該当

毒劇法：非該当

4. 応急措置

吸入した場合：直ちに患者を毛布等にくるんで安静にさせ、新鮮な空気のある場所に移す。呼吸が困難な場合又は呼吸が停止している場合には、直ちに人工呼吸を行い、医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣服や靴等を脱がせ、付着部又は接触部を石鹸水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。もし皮膚に炎症やかゆみを生じた時は、医師の手当を受ける。

目に入った場合：直ちに多量の水で15分間以上洗い流し、眼科医の手当を受ける。

飲み込んだ場合：水で良く口の中を洗浄させる。吐き出させると気管に入ってしまう危険が増す。安静にし、直ちに医師の手当を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：粉末、泡、二酸化炭素、霧状の強化剤

- 初期の消火には粉末、二酸化炭素消火剤を用いる。
 大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。
 使ってはならない消火剤：棒状水の使用は火災を拡大し危険な場合がある。
 消火方法：周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、
 容器及び周辺に散水して冷却する。
 火災発生場所周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
 消火を行う者の保護：消火作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置：

- ・ 風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・ 作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。屋内の場合には、処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に対する注意事項：

- ・ 濃厚な洗浄廃液が河川に排出しないよう注意する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材：

- ・ 漏洩した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、土、砂、おがくず、ウエス等に吸わせて密閉可能な空容器に回収する。
- ・ 大量の場合は、盛り土で囲って流出を止めた後、液面を泡で覆い容器などに回収する。

7. 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い：

技術的対策

- ・ 指定数量以上の量を扱う場合には、法で定められた基準を満足する製造所、貯蔵所、取扱所で扱う。
- ・ 静電気対策の為に装置、機器等の接地を確実にを行い、作業衣、作業靴は導電性のものを用いる等の対策を行う。
- ・ 電気機器類は防爆型のもの、工具は火花防止型のものを用いる。

安全取り扱い注意事項

- ・ 取扱い場所は火気厳禁とし、作業場は換気を十分に行う。吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・ 換気装置を設置する場合は、防爆タイプを用いる。
- ・ 取扱いの都度容器を密閉する。蒸気の発散をできるだけ抑え、作業環境を許容濃度以下に保つように務める。
- ・ 取扱い後は、手洗いとうがいを十分に行う。

保管：

適切な保管条件

- ・ 容器は密栓して、換気良好な冷暗所に貯蔵する。ボイラー等熱源付近や可燃物の近くに置かない。
- ・ 消防法の基準に基づき危険物の表示をして倉庫に保管する。
- ・ ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と同一場所に置かない。

8. 暴露防止および保護措置

設備対策：屋内作業時は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

管理濃度および許容濃度

化学物質の名称	管理濃度	ACGIH	日本産業衛生学会
水素化精製重質ナフサ	—	5 mg/m ³ (オイルミスト)	3 mg/m ³ (オイルミスト)
合成イソパラ系炭化水素	—	—	—

保護具：有機ガス用防毒マスク、保護眼鏡、耐油性保護手袋、保護衣等を使用する。

9. 物理的および化学的性質

製品の物理的および化学的性質

外観

色・形状：乳白色液体

臭い：油臭

pH：該当しない

融点・凝固点：データ無し

沸点・初留点：100℃以上

沸騰範囲：100～300℃

引火点：40℃以上（代表値）

自然発火温度：約200℃以上（推定値）

燃焼または爆発範囲：上限…約7% 下限…約0.5%（推定値）

蒸気密度：データ無し

比重：0.9～1.0（25℃）

溶解性：難溶

オクタノール／水分配係数：データ無し

分解温度：データ無し

成分の物理的及び化学的性質

成分の名称	沸点 (℃)	比重	水への 溶解性	相対蒸気 密度	引火点 (℃)	発火温度 (℃)	爆発限界 vol% (空气中)	logPow (オクタノール/水 分配係数)	出典
水素化精製重質ナフサ	163-190	0.77	不溶	データ無	40以上	200以上	0.6～7	データ無	*
合成イパラ系炭化水素	213-262	0.79	不溶	1.0以上	86	200以上	0.5～4.1	データ無	*

出典 *：原材料のMSDS

10. 安定性および反応性

安定性・反応性：常温以下、通常のご扱いにおいては安定。

避けるべき条件：引火性、揮発性を有するため火気厳禁。

避けるべき材料：強酸化剤、水酸基と反応する物質（イソシアネート等）との接触、混合を避ける。

危険有害な分解生成物：燃焼によりCO、NO_x等の有害ガスが発生する。

11. 有害性情報

製品としての有害性情報：なし

成分の有害性情報（GHS分類結果）

項目	急性毒性 (経口)	急性毒性 (経皮)	急性毒性 (吸入:気体)	急性毒性 (吸入:蒸気)	急性毒性 (吸入:粉塵) (吸入:ミスト)	皮膚腐食性 皮膚刺激性	眼に対する 重篤な損傷 眼刺激性
水素化精製重質ナフサ	区分外	分類できない	分類対象外	分類できない	分類できない	区分3	区分2B
合成イパラ系炭化水素	区分外	分類できない	分類対象外	区分4	分類できない	分類できない	分類できない

項目	呼吸器感受性 皮膚感受性	生殖細胞変 異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器 ・全身毒性 (単回暴露)	特定標的臓器 ・全身毒性 (反復暴露)	吸引性呼吸 器有害性
水素化精製重質ナフサ	分類できない 区分外	分類できない	区分外	区分外	区分2 (呼吸器、神経 、麻醉性)	分類できない	区分1
合成イパラ系炭化水素	分類できない 分類できない	分類できない	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

1 2. 環境影響情報

製品としての環境影響情報：なし
成分の環境影響情報

項目	水生環境有害性（急性）	水生環境有害性（慢性）
水素化精製重質ナフサ	区分3	区分3
合成イパラ系炭化水素	分類出来ない	分類出来ない

1 3. 廃棄上の注意

- ・ドラム缶等に入れ、横転しても内容物が外部に流出しないように密栓する。
- ・焼却する場合は、産業廃棄物処理基準に従って焼却する。
- ・外部委託の場合は、廃油(可燃性)であることを明記し、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

1 4. 輸送上の注意

注意事項

- ・容器の漏れのないことを確かめ、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- ・指定数量以上を車両で運搬する場合は、「危」の表示を車両前後に表示し、消火設備を備える。
- ・容器を積み重ねる場合には、高さ3m以下とする。
- ・第1類、第6類の危険物とは混載できない。
- ・消防法の危険等級Ⅲに準ずる運搬容器に収納して運搬する。

国連分類：クラス3（引火性液体）

国連番号：1210 指針番号：129

1 5. 適用法令

- ・労働安全衛生法：危険物(引火性の物)
- ・消 防 法：第2条危険物第4類第2石油類非水溶性液体 危険等級Ⅲ
- ・航 空 法：施行規則第194条告示別表第3引火性液体 G-等級3
- ・港 則 法：施行規則第12条危険物告示 引火性液体類
- ・危険物船舶輸送及び貯蔵規則：第3条危険物告示別表第5引火性液体類(高引火点引火性液体)
- ・海洋汚染防止法：油分排出規制
- ・下水道法：鉱油類排出規制
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律：特別管理産業廃棄物（廃油）

1 6. その他

参考資料

- 1) ACGIH(2006年)
- 2) 日本産業衛生学会(2006-2007年)
- 3) ICSC CARD
- 4) 神奈川県環境研究所データベース
- 5) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
- 6) 原材料のMSDS
- 7) 製品安全データシート作成指針（日本化学工業協会）2006年5月発行
- 8) 製品安全データシート作成資料改訂第3版 JIS Z7250-2005 対応（印刷インキ工業連合会）
- 9) IARC (Vol. 1~85)

問い合わせ先

担当部門：研究部 電話番号：06-6458-1161（代）

記載内容の変更等

- ・この「安全データシート」は安全保証ではありません。
- ・取り扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実際に即した適切な処置を講じて下さい。
- ・記載内容は、法令の改正及び新しい知見に基づき予告なしに改訂される事があります。